

12月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	津田広一	参加 メンバー	CL; 町田 修 SL; 山田 明 亀山 誠 津田 廣一
個人		報告日	12/9		
山 域	中ア	山行日	08年 12月 6日(土)		
山 名	御嶽山		~7日(日)		
山行目的	雪上訓練		コースタイム(天候: 天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙:集会  
担当者

ルート図(地図を見て正確に)



12/6 曇	12/7 晴
04:15 刈谷発	05:40 女人堂(テ場)発
08:00 御嶽ロープウェイ乗場山(駐車場; 準備)	05:50 金剛童子(5分)
08:30 ロープウェイ乗車	06:20 明治不動(5分)
09:00 ロープウェイ飯森駅(登山開始)	06:40 黒岩(アゼン装着)(発6:55)
10:00 1本(5分)	07:30 石室山荘
11:00 女人堂(テ場)着(テト設営)	08:00 覚明堂 1本(10分)
12:00 雪上訓練開始(確保・滑落防止)	08:30 御嶽山頂(15分)
14:30 雪上訓練終了	08:45 御嶽山頂発
	09:55 女人堂(テ場)着(テト撤収)
	10:25 女人堂(テ場)着
	11:30 ロープウェイ乗り場着

山行報告 12月6日】早朝4時に刈谷へ集合。荷物を町田号へ乗せ換えて出発。8時にロープウェイ駐車場に到着し、朝一のロープウェイに乗車。わかんをつけて9時に出発。真っ白な雪景色と寒気に気を引き締めて一步一步、足を運ぶ。雪は多く、それでも時々ズボッとひざ下ぐらいまで踏み抜く。踏み抜くと足を引き抜くの悪戦苦闘だ。傾斜も徐々に増し、ハ〜ハ〜と、息も次第に上がってくる。久し振りに荷をしっかりと担ぎ、肩にもリュックの重みが食い込んでくる様だ。我慢、我慢と1時間程、歩いて1本。行動食を腹に入れては、元気を回復し、歩き続ける。そうこうしている内にテ場である女人堂に到着。早速、テントを設営している内に全トヨタの他社メンバーも到着し、雪上訓練を開始。ザイルを使って、確保や滑った人を止める方法を教わり、何回も実感した。次いで、ピッケルでの滑落防止を練習。最後に、思い思いに雪の急傾斜登りに挑戦し2時間半の雪上訓練を終了。結構、面白く、時間の経過も忘れていた。テントへ戻り、ビールで乾杯。そして、贅沢なずき焼き夕食を味わい、焼酎での大宴会へ・・・。

12月7日】4時起床、寒い。昨夜も風がビュービューと吹き荒れ、テントを介して頭をこずかれているかの様な感じだった。朝食の支度をしつつ暖を取り、肉うどんを腹に入れて、ようやく体も温まった。出発時間が迫り、出発準備を急ぐ。しかし、風も強く、寒く、手袋をしたままでの準備がうまくできない。私のせいで少

し遅れての出発となってしまった。風が強く、寒い。手指の先も痛い。トップを順番に交代していくが、すぐに息が上がってしまう。空が白みかけてきた頃に広い所へ出て、アイゼンを装着した。雪も硬くしまって、アイゼンがよく聴いて歩きやすい。歩くのを楽しんでいる内に頂上に着いた。全員で写真を撮り、360度の展望を目に焼きつけて、下山の途についた。最高の天気に恵まれ、幸運にも冬の御嶽へ登れ、ラッキー！

リーダー所見 切り口を変えて、以下の事を少し考えました。新人の頃、漫画本の上にアゼンを置き手袋を付けて素早く装着できるように先輩から教えてもらった。又、丸い竹を切り、等分に割って紐を結び、回収しやすい付け方を教えてもらった。又、テントの張網も調整ができるやり方を教えてもらった。いずれも平地でできる事です。我々古参が若手に上記の様な事をしっかり落とし込む必要がある。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード



山頂の雪尻

確認  
(リーダー)

町田  
08/12/10

作成  
(報告者)

津田

08.12.09